

調査結果と考察

1 学習内容として取り上げた主な課題

昨年度担当した学年の「総合的な学習の時間」に、学習活動としてどのような課題を主に取り上げたか質問した。

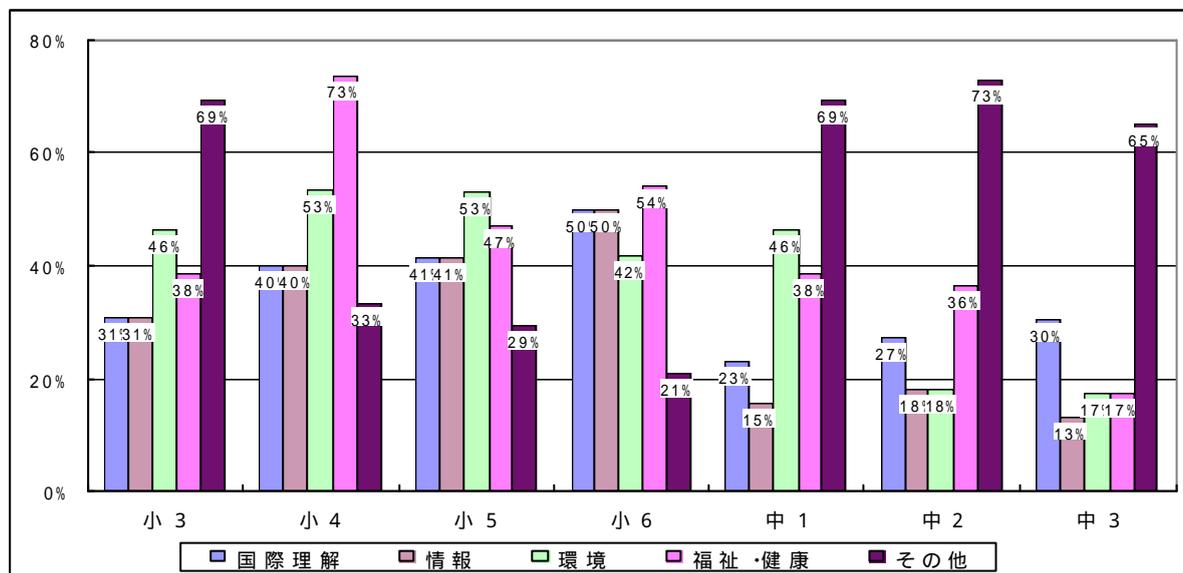


図1 学習内容として取り上げた主な課題 (複数回答)

(1) 結果

「国際理解」「情報」に関する課題を取り上げた教師の割合は、比較的小学校の方が高く、しかも学年が上がるにつれて増えている（小学校で約30～50%、中学校で約10～30%）。また、「環境」に関する課題を取り上げた教師の割合は、小3～中1で約40～50%であるのに対して、中2、中3では17～18%と低い。「福祉・健康」に関する課題を取り上げた教師は、中3担当で17%である他は、各学年とも約35%を超え、特に、小4で73%、小6で54%と割合が高い。「その他」の課題を取り上げた教師は、小3と中1～中3で約70%と割合が高い。

(2) 考察

小学校で、「情報」に関する学習活動が多いのは、情報機器の基本的な操作や活用の仕方の習得が図られたことによるものと思われる。「国際理解」に関しても、小学校の方が取り上げられた割合が高いが、これは、多くの小学校で英会話活動等が導入されたためと考えられる。また、体験的な活動が重視されていることから、小3～中1で、「環境」にかかわる自然体験や社会体験、「福祉・健康」にかかわるボランティアや社会体験、施設訪問、交流活動等を取り入れる傾向が多く見られた。

さらに、「その他」として記述された活動内容を見ると、小3～中1では、地域や郷土を題材とした調べ学習が多かった。このことから、この時間の学習内容や体験的な活動に、学校の特色や地域の特徴を生かそうとした様子がうかがえる。また、中2では、職場体験に関すること、中3では、進路に関することや個々の生徒の興味、関心に応じた課題を取り上げる様子が見られた。これは、これまでの学校行事や学年の活動をこの時間に生かそうとしたものと思われる。